

チャレンジ項目記入数 12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・創立記念式典の際に、社長訓示で経営理念及び経営目標を共有している。 ・年に2回、社長から業務運営方針の通達があり、各課で業務運営方針に沿った運営方針を作成し、課員への周知を行っている。									8	9							17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守の規定がある。 ・3ヶ月に一度、外部委託先に依頼し、当社に関連する法令の改正がないか見直しを行っている。 ・年に一度、当社に関連する法規制の順守評価を行っている。																	16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・就業規則の服務規程で不正競争行為に関与しないことを明記した上で、更に個人と誓約書を取り交わしている。												10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・ISO14001を取得しており、品質保証課を専門部署として整備している。 ・半期に1度品質と環境の取り組み内容と確認をマネジメントレビューとして報告している。																		16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・各顧客と秘密保持契約及び取引基本契約等を結んでいる。 ・各個人と入社時に秘密保持に関する誓約書を取り交わしている。 ・「情報セキュリティ事業継続計画」を制定している。									8.2 8.3	9								16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・重要資料は施錠できる場所にて管理し、必要に応じて鍵の管理者が開錠、施錠を行っている。 ・データベースは、特定の人しか使用できないパソコンでパスワードを用いて管理している。 ・「情報セキュリティ事業継続計画」を制定している。																		16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・顧客からの苦情等を分析し、是正処置を行っている。 ・顧客との技術会議を定期的に行っている。																		16	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・倫理面での適切な対応を、事業パートナーと取引基本契約で取り交わしている。 ・事業パートナーと、CO2排出量の削減をはじめとした地球環境への配慮など、問題意識の共有をしている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・BCPを策定し、定期的に避難訓練を実施している。 ・社員に非常食を配布し、備蓄している。									9		11		13.1					16	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・業務の標準化等を実施している。 ・外部研修の活用や顧客先での実務研修を通じて、若手社員の指導・育成に取り組んでいる。									8	9								17	
労働・人権	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17		
	12	【差別の禁止】 ・性別・年齢・障がい・国籍・出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・全ての雇用条件・職務環境で差別を行わない採用や運用を実施。 ・就業規則で各種ハラスメントの禁止を謹っている。 ・採用担当者が公正採用選考人権・同和問題啓発推進員として選任され、毎年研修会に参加している。					4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・安全衛生委員会を開催している。(月1回) ・毎週、社内に危険箇所がないか巡回を行っている。			3						8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・雇用形態ごとに業務内容を明確にし、厚生労働省「同一労働同一賃金ガイドライン」に沿った運営を行っている。 ・福利厚生については、雇用形態に関わらず正社員と同様である。					5.5			8.5		10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間の管理徹底や、有給休暇の取得奨励を実施している。 ・年間休日120日以上を維持している。 ・育児休暇使用者取得率100%を達成している。 ・時短勤務制度がある。			3		5.5			8.5 8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・入社時に導入教育を行っている。 ・新規製品、原料を使用する際には事前にSDS教育を実施している。 ・業務に関わる資格の取得を推奨している。 ・各課の業務運営方針に基づいた教育計画を作成し、実行している。				4	5.5			8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・毎年の健康診断、ストレスチェックを実施している。 ・インフルエンザ予防接種の費用を負担している。 ・毎月、感染症や花粉症対策など、健康維持に関する掲示を行っている。			3					8									17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格に、性別の違いによる差別的待遇がない。 ・女性管理職比率50.0%(GL以上) ・障がい者雇用を実施(2名)。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・WEB会議を実施している。			3						8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・社用携帯を導入することで、遠隔地でコミュニケーションが取れるようになった。									8	9.1		11	12						
	21	【プライバシーリート】 ・プライバシーリートに認定されている。	●					3	4					8	9			12						

チャレンジ項目記入数 12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・ISO14001を取得している。 ・産業廃棄物を含め、廃棄物は処理業者に適切な処理を委託している。 ・年に一度、部署ごとに環境影響評価を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・社屋と倉庫へ太陽光パネルを設置し、倉庫に使用する電力を賄っている。毎月の発電量をモニタリングしており、マネジメントレビューで半期に一度報告している。 ・遠方から近隣の外部倉庫に変更し、移動距離を短くすることでガソリン使用量を削減している。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・社屋と倉庫へ太陽光パネルを設置し、倉庫に使用する電力を賄っている。 ・従業員の通勤時及び社用車のガソリン使用量からCO2排出量を算出している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・製造活動で生じた廃液については、市水に排出せず、廃液処理を行っている。 ・熊本県と城南工業団地環境形成協定書を結んでいる。					6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・裏紙の利用を推奨している。 ・廃液はRF(燃料)へのリサイクルを行う業者に処理を委託している。 ・廃棄物は分別を行い、適切な業者に処理を委託している。 ・トナーカートリッジ等は業者に引き取りを依頼し、リサイクルを行っている。 ・システム導入によるペーパーレス化に取り組んでいる。								9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・製造活動で生じた廃液については、市水に排出せず、廃液処理を行っている。 ・熊本県と城南工業団地環境形成協定書を結んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生フロンや廃材を混ぜたコンクリート等、環境に配慮した資材を使用し、危険物倉庫を建設中。								9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・敷地内のグリーンゾーンに果樹や芝生を植えている。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		・社屋と倉庫へ太陽光パネルを設置し、倉庫に使用する電力を賄っている。 ・照明をLEDに変更している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・ビニール等を使用する副資材の包装形態を見直し、包装材の削減を行っている。 ・使用するパレットを、プラスチック製のみから木製または段ボール製の多用に変更している。											12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●										9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●	●							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: タチバナ化成株式会社 熊本事業所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数 12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・ISO9001を取得しており、安定した品質での製品提供に取り組んでいる。			3.9							9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・事業所内外の標識は、マーク表示の標識の設置を推進している。										9.1	10	11.7					17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●				2.3 2.4						7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●									7						12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。	●			2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・熊本地震の際、熊本県への寄付を行っている。 ・熊本県立中学のナイスドライの受入を行っている。 ・熊本県立高校の職業体験の受入を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・BCP(事業継続計画)を策定している。 ・定期的に避難訓練を行っている。 ・事業所において、防災備蓄や防災グッズを常備している。 ・緊急連絡網の定期的なテストを実施している。				4								11.5		13.1		16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		・会社内にAEDを設置している。 ・消防署職員とのAED講習を定期的に行っている。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●												9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		・熊本県環境保全協議会に参加している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		・熊本県立中学のナイスドライの受入を行っている。 ・熊本県立高校の職業体験の受入を行っている。				4					8.6		10.2					17		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●		・地元高校の教員との交流会への参加や、地元高校生を対象とした団体工場見学の実施を通じて、地元の生徒・学生の雇用を積極的に雇用している。				4.4					8.5 8.6							17		
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●			2			4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。